

家具転倒防止器具等の 無料支給・取り付け

申請受付は7月3日（月）～平成30年1月31日（水）

7月3日から、家具転倒防止器具等の無料支給・取り付けの申請受付を行います。

地震では、住宅の倒壊だけでなく、倒れてきた家具類の下敷きとなり犠牲になる方が数多く発生しています。家具類の転倒・落下などを防止することは、ご自身の身を守るために極めて重要であり、被害を免れた方は、他の方を助ける側になることも期待されます。

この機会にぜひお申し込みください。

対象世帯 市内に住所を有する世帯で、次のいずれかに該当する世帯

※当事業または高齢者、障害者を対象とした同様の事業により、すでに支給を受けたことのある世帯は対象となりません。

▶立川断層が推定されるライン周辺の地域および立川断層帯地震の際に、震度6強以上が想定される地域のうち、次の対象地域に住所を有する世帯

▷対象地域…駒木町2・3丁目、長淵1～5・8・9丁目、友田町、千ヶ瀬町1～3丁目、吹上、野上町、大門、塩船、谷野、木野下、今寺、畑中3丁目、和田町、富岡、小曾木1・2・4・5丁目、成木1・2丁目、東青梅、師岡町、新町、末広町、河辺町、藤橋、今井

※丁目表示のない地域は、地域内全域が対象です。

▶満65歳以上の方のみの世帯または身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかの交付を受けている方がいる世帯

※要件に該当する方が医療機関に入院または施設等に入所している場合は、対象とならないことがあります。詳しくはお問い合わせください。

支給器具等 下表の支給器具一覧から合計150ポイント以内でお選びください。なお、器具等の取り付けを確実にするため、すべての器具等の配送と取り付けについては、市の委託した業者が行います。器具等の支給のみの申請はお受けできません。

申し込み 申請書に必要事項を記入し、7月3日（月）～30年1月31日（水）の午前9時～午後5時に防災課（市役所5階）へ直接持参

※土・日曜日、祝日、年末年始を除く

持ち物 印鑑、身体障害者手帳等（お持ちの方）

その他 先着順で受け付けを行い、予定数量になりしだい終了します▶申請内容を審査のうえ、支給の可否を決定し郵送により通知します▶支給を決定した世帯には、委託業者が取り付けに伺います▶申請書・パンフレットは、市役所1階総合案内、各市民センターおよび中央図書館で配布します。また、市ホームページからダウンロードもできます。

問い合わせ 防災課、高齢介護課、障がい者福祉課

表 支給器具一覧

器具名	ポイント
突っ張り棒（2本1組）〈茶、アイボリー〉家具から天井までの高さ25～35cm、35～50cm、50～80cm	60
突っ張り棒（2本1組）〈茶、アイボリー〉家具から天井までの高さ80～110cm	65
突っ張り棒補強あて板（2枚1組）	30
ベルト式耐震金具（2本1組）	15
家具転倒防止板（2本入）	20
家具転倒防止具（大2個、小2個入）	15
家具転倒防止器具（2個1組）	30
キャビネット・ロッカー連結用（4枚入）	25
冷蔵庫ストッパー（2本1組）	30
扉開放防止金具（2組入）	15
薄型テレビ用耐震シート（6枚入）	25

突っ張り棒 （マグニチュード7）2本1組

家具を傷つけず簡単に取り付けられる家具転倒防止器具です。

60ポイント
ただし80～110cmは
65ポイント



写真は、突っ張り棒と突っ張り棒補強あて板を組み合わせた例です。

30
ポイント

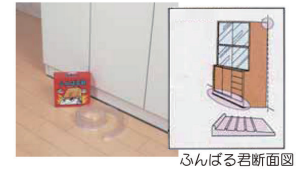
突っ張り棒補強あて板 2枚1組

突っ張り棒の上下をあて板で挟んで箱型構造にすることでより効果を高めます。天井の構造により、突っ張り棒の効果が不十分な場合に使用します。状況により、あて板をしても効果が得られない場合があります。

家具転倒防止板 （ふんばる君）2本入

20
ポイント

家具の前下部に敷くだけで地震に力を発揮する耐震性に優れた形状の転倒防止板です。



ふんばる君断面図

ベルト式耐震金具 （タンソガードII）2本1組

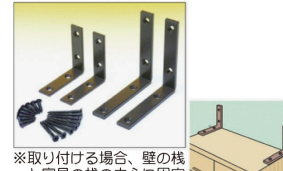
15
ポイント

地震などによる家具の転倒を防ぐベルト式耐震金具です。



家具転倒防止具 （L字型金具）大2個、小2個入

L字型の金具とネジで、タンスや食器棚等の木製家具を壁に固定して転倒を防止します。



※取り付けの場合、壁の穴と家具の棧の中心に固定してください。

家具転倒防止器具 （不動王T型固定式）2個1組

30
ポイント

超発泡ダンパーが地震動を吸収し、家具の転倒を防ぎます。家具や壁を傷つけず簡単に取り付けることができます。



天面取り付けの場合

側面取り付けの場合

キャビネット・ロッカー連結用 （不動王連結用シート）4枚入

分離した家具類を強力な粘着力で接続、地震による転倒を防ぎます。



取り付け例

取り付けイメージ

30
ポイント

冷蔵庫ストッパー 2本1組

冷蔵庫を移動させずに粘着テープで壁面に固定、強力なゴムベルトが地震の衝撃を緩和して転倒を防ぎます。

扉開放防止金具 （とびらロック）2組入

15
ポイント

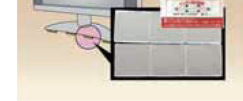
ネジで食器戸棚などのとびらに取り付け、丈夫なクサリで揺れによるとびらの開放を防止し、食器類の飛び出しを防ぎます。



薄型テレビ用耐震シート （不動王耐震シート）6枚入

25
ポイント

液晶モニターや薄型テレビの下に敷くことで、転倒・落下を防ぎます。



備考 ①天井、壁、床および家具類の状況によっては取り付けができない場合がありますので、十分確認のうえ、申請してください。②突っ張り棒は、家具類から天井までの高さによって器具が異なりますので、高さを確認のうえ、申請してください。高さがちょうど35cm、50cmまたは80cmの場合には、1つ上のサイズを指定してください。③器具によっては、取り付けの際に家具や壁面等に穴を開けることがあります。④賃貸住宅等にお住まいの方は、家主、住宅管理者の承諾を得て、取り付けが可能であることを確認してから申請してください。⑤器具等の取り付けは現状のまま行います。壁、天井、床および家具類に対する補強工事等はいりません。⑥器具等の取り付けを行うため、委託業者がご自宅に立ち入ります。

都内流通食品の 放射性物質検査結果

都福祉保健局健康安全部食品監視課が実施した都内流通食品の放射性物質検査結果について、5月10日に採取（購入）した食品の放射性セシウム（セシウム-134、セシウム-137）の検査をした結果、すべてについて基準値未満でした。詳細は、都福祉保健局ホームページ <http://www.fukushinoken.metro.tokyo.jp/> をご覧ください。

検査結果に関する問い合わせ 都福祉保健局健康安全部食品監視課監視計画担当 ☎03-5320-4404

問い合わせ 市民安全課市民相談係

青梅市内の水道水の 放射能測定結果

市内の浄水所および小作浄水場の浄水（水道水）の放射能測定結果について、5月24日現在の放射性ヨウ素および放射性セシウムはいずれも不検出でした。詳細は、都水道局ホームページ <http://www.waterworks.metro.tokyo.jp/> をご覧ください。

水道に関する問い合わせ 都水道局多摩お客さまセンター・ナビダイヤル ☎0570-091-101（ナビダイヤルをご利用できない場合 ☎042-548-5110）

※日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後8時

問い合わせ 市民安全課市民相談係

青梅市内の空間放射線量 定期定点測定結果

市では、定期定点測定として、市内4施設、各1地点の空間放射線量の測定を行いました。測定結果は下表のとおりです。

今回の測定値は、これまでに計測した値と大きな差はなく、現時点においては健康に影響を与える数値でないと考えられます。

測定日 5月17日

測定機器 日立アロカ
メディカル社製TC
S-172B

問い合わせ 環境政策
課環境対策係

測定場所	測定値 線量率μSv/h （マイクロシーベルト/時間） 地上高1m
二小	0.03
五小	0.03
成木小	0.05
新町小	0.05